



スッポンはなぜ一度かんだらはなさないの

水中に入ればすぐはなす

スッポンは、あごのふちにするどい歯があり、かむ力が強いカメです。おくびょうなカメで、いやなことをされたりすると人の手をかみます。かまれると大変な傷をうけますので注意が必要です。しかし、かみついたらはなさないというのは、少しオーバーで、実際は、水に入るとすぐにはなします。

スッポンは首が長く、ふつうの持ち方では、首をまわしてかみます。下の図のように、「こうら」の後ろ半分を持ちます。

料理する人への注意

スッポンは栄養価が高く、江戸時代にはすでに食べられていました。明治になってから、養殖もされるようになりました。

料理するとき、かまれることが多かったので、かみつかれないように注意させるために「スッポンは一度かんだらはなさない」と言い伝えられたのでしょう。

スッポンの暮らし

川やぬまにすみ、魚、エビ、カニ、こん虫、巻き貝などを食べます。養殖場では、魚の粉で作った配合し料がえさです。（監修・杉浦 宏）

長い首を後ろにまわすと、
線のところまでのびる

